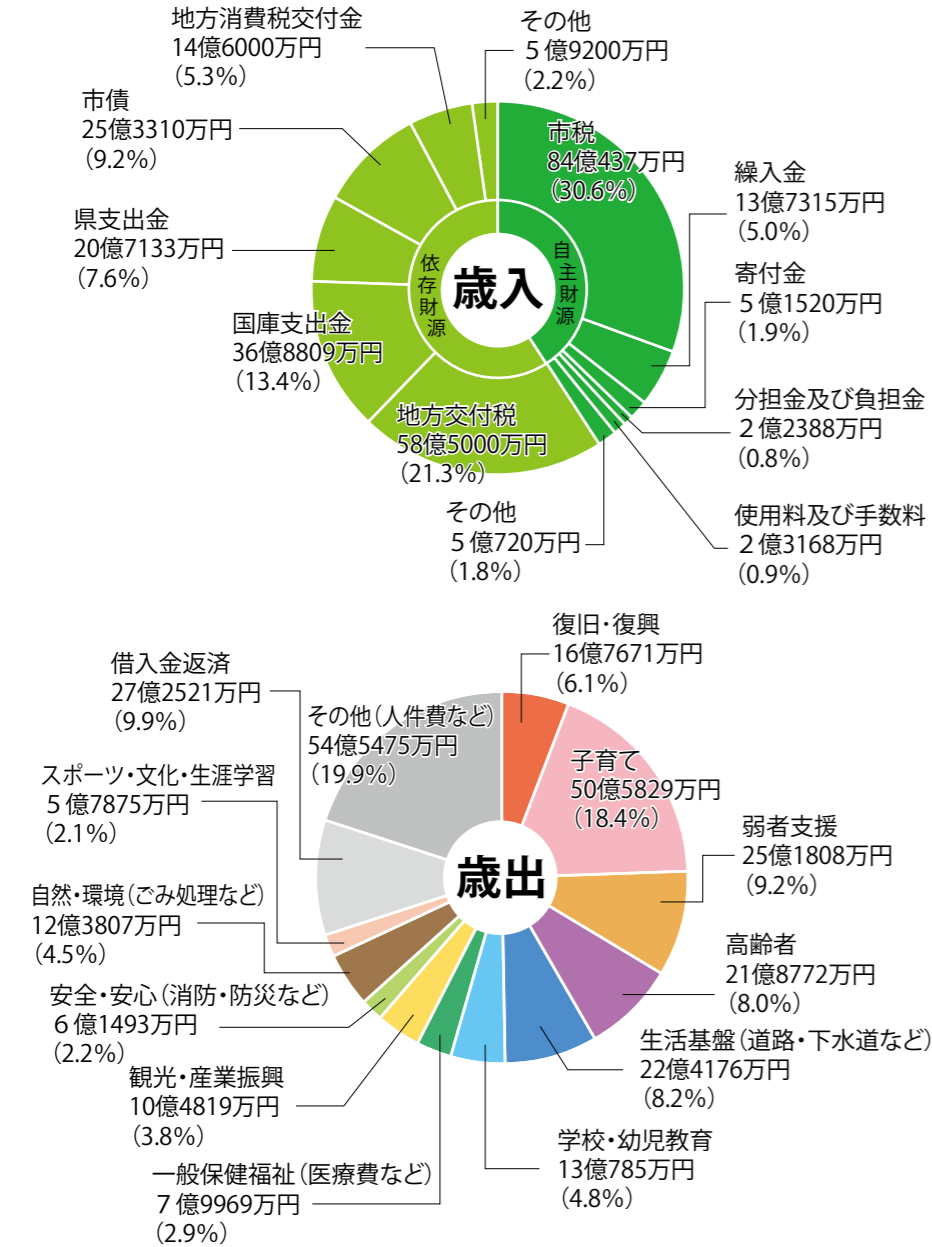


## ■一般会計の歳入と歳出の内訳



## ■一般会計・特別会計・公営企業会計別の予算額

区分	令和2年度	令和元(平成31)年度	増減	前年度比
一般会計	274億5000万円	300億6000万円	▲26億1000万円	▲8.7%
特別会計	147億円	172億100万円	▲25億100万円	▲14.5%
国民健康保険	69億円	72億100万円	▲3億100万円	▲4.2%
後期高齢者医療	8億8700万円	8億3800万円	▲4900万円	5.8%
介護保険	62億円	57億4800万円	▲4億5200万円	7.9%
農業集落排水事業費	—	3億2300万円	▲3億2300万円	皆減
公共下水道事業費	—	23億8000万円	▲23億8000万円	皆減
国民宿舎事業費	7億1300万円	7億1100万円	▲200万円	0.3%
公営企業会計	65億9213万円	25億8120万円	▲40億1093万円	155.4%
水道事業	29億9510万円	25億3890万円	▲4億5620万円	18.0%
工業用水道事業	3760万円	4230万円	▲470万円	▲11.1%
下水道事業	35億5943万円	—	35億5943万円	皆増
合計	487億4213万円	498億4220万円	▲11億7万円	▲2.2%



# 総社を伸ばす 令和2年度予算

今年度の当初予算は、西日本豪雨からの復旧・復興事業に重点配分。本市が取り組む「福祉王国プログラム」や「グランドデザイン改革」などのさらなる充実も目指す編成となりました。

問い合わせ 財政課 (☎②8228)

一般会計と4つの特別会計、3つの公営企業会計の令和2年度当初予算が決定しました。

一般会計の総額は、274億5000万円です。前年度当初予算と比べ26億1000万円、率にして8.7%の減額。今後予定されている市役所新庁舎建設事業やJR桃太郎線のLRT化などの大型事業実施に向けた緊縮予算となりました。

昨年に引き続き、西日本豪雨からの復旧・復興事業に重点的に配分。総額で16億7671万円を計上しました。主なものは、排水ポンプ設置など排水対策事業に9億2010万円、復興住宅整備事業に2億7733万円、災害廃棄物の処理や被災家屋解体経費に8887万円などです。

福祉王国プログラムに関わるものでは、障がい者千五百人雇用事業に2172万円、ひきこもり支援事業に2086万円、児童虐待防止事業に

417万円、健康インセンティブ事業に4645万円などを計上しています。刑部三須線をはじめ、南北道の整備などを行う「グランドデザイン改革」では3億8685万円を、道路の維持補修など地域の要望に対応するための「地域力再生予算」は1億円を計上。さらに充実した取り組みを目指します。

市の借金である市債の償還は27億2521万円と、歳出全体の9.9%を占めています。前年度当初予算比で2.3%減少しました。

特別会計の総額は、前年度当初予算比14.5%減の147億円です。上下水道関連の公営企業会計は、全体で65億9213万円。全会計の合計は487億4213万円、前年度当初予算比2.2%減となりました。

引き続き市民に寄り添い復興への歩みを進めるため、健全な財政の維持に努め、人口や経済が上昇する市を目指します。